

【資料2】

緑肥の利用と 草管理について

発表者: コトコトファーム 古東篤

令和3年度県北地域有機農業拠点ほ場技術検討会(2022.3.16)

コトコトファーム 概要

- 耕作面積:240a
- 栽培作物:露地野菜全般
約40品目、100品種以上の作付け
- 出荷形態:①個人への野菜セットの定期販売
野菜セット:7~11種類の季節の野菜の詰め合わせ
②飲食店への直接卸し
③道の駅への出荷
- 労働力:栽培部門 古東ともう一人(75歳の高齢者)
出荷部門 上記2名+パート2名
- 持っている農機具:トラクター 40馬力 170cmロータリー
管理機、ハンマーナイフモア、マルチャー
刈払い機、クリーンシーダー(手押し)

栽培に関して 気にかけている こと

I 土壌中の微生物をなるべく多様にかつ多くすること

- →米ぬかや牛糞堆肥の使用
- →耕耘回数をちよつとでも減らす
- →**緑肥の施用**

II 無農薬といえどもなるべくきれいな野菜を出荷

- →防虫ネットの使用
- →雑草を少しでも減らして害虫発生源を作物から遠ざける
- →**緑肥の活用にて草対策を兼ねる**

くず小麦を用いた
果菜類の
通路管理



果菜類の通路
8月後半



ミニトマトなど
トンネル支柱
栽培でも



ヘアリーベッチ
でのカボチャ
圃場管理



おまけ
落ち葉による
雨よけハウスで
のトマト栽培
通路管理



おまけ2
エンバクによる
単純な緑肥施用

